

北日本ヘア・スタイリストカレッジ 3つのポリシー

1 ディプロマ・ポリシー

本校美容科は、美容師法を遵守し、豊かな創造力と優れた美的感性を養い、人間性及び技を磨き、顧客のニーズに応える美容師を育成することが社会から期待されています。そうした人材を育成するために、本校美容科では所定の課程を修めたうえで、次のような目標を達成した者に専門士を授与します。

- (1) 美容師法の趣旨の学習を徹底し、わが国の美容文化及び公衆衛生の向上を目指し、高度な知識、技術を修得させ、国家試験全員合格のため最善を尽くします。
- (2) グローバルな視野に立ち、新たな時代の新たなヘアデザイン、メイクなど自ら創造できる力を培います。
- (3) 民間美容サロン等と提携し、豊かな実習経験のもとに顧客のニーズに対応できる柔軟な発想と優れた技術を身に付けます。
- (4) 自らの生活向上と多彩な美容サロンの経営を目指し、経営能力の育成を図ります。
- (5) わが国の伝統文化の一環として美容教育を捉え、茶道、華道、服飾（着付等）の学習を深め、日本人としての美意識を培います。

2 カリキュラム・ポリシー

本校美容科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、必修課目、選択課目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた教科課目を開講しています。なお、教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように方針を定めます。

(1) 教育内容

必修課目は、基礎的な課目から高度に専門的な課目へと年次進行に即して段階的に配置し、実践的能力を養成するための選択課目や学内外での多様な実習課目を開設する。また、国家資格など資格取得を推進します。

(2) 教育方法

教育目標に照らし、講義、演習、実習を適切に組み合わせて実施します。講義課目では新しい知識等を修得し、演習課目では、得られた知識の理解を深め自らの考えをまとめることができる技能を身につけます。なお、授業時間内外等において学生と教員間の対話を促進し、学生の意見・状況等を反映した授業運営を実施します。

(3) 学修成果の評価

各課目の学習成果の評価は、各課目のシラバスに定める成績評価方法により行います。
また、修得した課目及び成績が学校で定める卒業要件を満たしていれば、専門士（理美容専門課程）の称号を授与します。

3 アドミッション・ポリシー

《教育目的》

本校は、美容師法の趣旨に基づき、美容の専門技術並びに学術を教授し、併せて一般教養の向上と人格の陶冶を図り、優秀な美容師を養成します。

このような教育目的のもと、以下のような学生を求めています。

「美容分野に強い関心があり、技術・知識について学ぶ意欲のある人」

また、そのために、入学者選抜においては、以下のような評価方法を用いる。

【出願の種類】（令和9年度入学生から）

- ・ AO入試
- ・ 高校推薦入試
- ・ 指定校推薦入試
- ・ 一般入試

【選考方法】

面接、書類審査